

「伝承」に向けた取り組み

みやぎ心のケアセンター（以下、当センター）第2次運営計画の基本理念と基本方針に「これまでセンターが担ってきた活動は、災害時における心のケア活動の貴重な知見となることから、今後発生する災害などにおいても活用できる支援のあり方について取りまとめるなど、これまでの活動で培われた経験の伝承も視野に入れた活動を実施する」としている。

そこで、これまでの伝承作業の経過と今後の取り組みの内容を以下に記す。

1. 「伝承」についての考え方、枠組み

（1）伝承することの意義について

これまで当センターでは、被災地域のニーズに応じて多種多様な活動を実施してきた。今後発生する災害の被災地域においても、同様のニーズが生じる可能性がある。そこで、被災地域にどのようなニーズが生じるかを明確にし、それらに対して当センターが実施してきた活動を伝え残すことは、今後の支援活動を行う際の一助となると考えられる。

（2）「伝承」のための具体的取組—伝承の対象に応じた取りまとめ—

伝承の対象を下記の2つに分けた。それぞれ支援活動の中で直面することが予測される疑問や課題を抽出し、当センターの経験に基づいた回答を取りまとめた。現在はインターネットなどを通じてそれらを発信する準備を進めており、令和7年度内の公表を目指している。

①「災害後の心のケアに携わる地域の支援者への伝承」（以下、被災地域の支援者への伝承）

被災した自治体の保健師等専門職が、被災者への対応及び支援者の受け入れなど、精神的健康に関する支援を円滑に進められることに寄与する目的で取り組むもの。

②「災害後の心のケアの実践に向けた組織運営の伝承」（以下、心のケアの専門的組織への伝承）

被災者及び支援者の精神的健康への支援を専門的に担う組織（心のケアセンター又は類似の組織）やその職員が円滑に業務を進められることに寄与する目的で取り組むもの。

2. 令和6年度の取り組み

「被災地域の支援者への伝承」では、以下の4つのテーマ（「サロン活動について」「生活支援員への支援について」「アルコール関連問題への対応」「健康調査支援について」）の取りまとめをおこなった。また、今後はこれらのテーマに加えて、「被災地域で発生する深刻な問題（自死、PTSD等）とその支援」「ポピュレーションアプローチについて」についても取りまとめをおこなう予定である。

「心のケアの専門的組織への伝承」では、取り扱う内容に応じて、組織運営に関するテーマを中心とした「運営編」と、専門的組織が行う支援に関するテーマを中心とした「実践編」に分けて構成した。必要とする専門職が速やかに情報収集しやすいよう配慮した（図1）。

3. 令和7年度の取り組み

令和6年度の作業を進めるとともに、インターネットを通じてこれらの情報にアクセスできるよう、ホームページの構築など環境整備を行う。

伝承の構成

被災地域の支援者への伝承

主に災害後の心のケアに携わる
地域の支援者向けのもの

中長期支援として重要であると考えられた
ものを取りまとめて記載

- ・ サロン活動について
- ・ 生活支援員への支援について
- ・ アルコール関連問題への対応
- ・ 健康調査支援について
- ・ 被災地で発生する深刻な問題とその支援
- ・ ポピュレーションアプローチについて

心のケアの専門的組織への伝承

主に心のケアセンターやその類似組織向けのもの

組織運営編

組織の立ち上げや職員の人材育成等、主
に組織づくりに関する内容

実践編

自治体保健師との連携の作り方、外部組
織としての実際の支援の進め方等、主に
支援に関する内容

図 1 伝承の構成